

名古屋能楽堂

十月定例公演事前学習講座

豊臣能楽 ～豊臣家の能と狂言～

今年度の名古屋能楽堂定例公演は、能楽を愛好していた豊臣秀吉を始めとして、能楽に深い関心を寄せた豊臣家の人々に関わるエピソードとともにお届けします。

十月定例公演の演目は能「井筒」。「伊勢物語」に材を取った詩情あふれるこの秋の名曲は、秀吉や甥の秀次も舞った記録が残されています。事前学習講座では、能「井筒」の物語背景や見どころなどをご紹介します。能楽鑑賞に興味はあるけど難しそう…と思っている方、まずは事前学習講座から始めてみませんか？

～『井筒（いづつ）』あらすじ～

旅の僧が初瀬参りの途中、在原寺に立ち寄り、在原業平、紀有常の娘夫婦の弔いをする。そこに女が現れて、古い井戸の水を汲んで古塚に手向ける。女は僧にこれが在原業平の墓だと教え、夫婦の恋物語を語る。それは、背比べや井戸の水に顔を映しあう等して心の隔てなく過ごしていた幼馴染の二人が、大人になり互いに恥じらうようになったが、和歌を贈り合うことで結ばれるというものだった。女は紀有常の娘とも井筒の女というのも自分のことだといって井戸の陰に隠れる。＜中入＞

その夜、僧の夢の中に紀有常の娘が現れる。女は業平の形見の冠と直衣を身に着けて舞を舞い、井戸の水面に映る自分の姿を業平の面影と重ねて懐旧にふけるが、夜明けとともに姿を消していく。

ご受講には事前学習講座
チケットが必要です

500円

チケット取扱いについて

チケット発売日：8月6日（木）

チケット取扱い：

名古屋能楽堂 TEL:052-231-0088

名古屋市文化振興事業団チケットガイド

TEL:052-249-9387（平日9:00～17:00／チケット郵送可）

名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口

＜土日祝日も営業＞でもお求めいただけます。

（工事休館などがありますので、ホームページでご確認下さい。）

※友の会・障がい者等による割引はありません。

講座日時

【日時】 10月4日（日）
14:00～15:30

【会場】 名古屋能楽堂 会議室

【講師】 林 和利
（文学博士・伝承文化研究センター所長）

【定員】 60名（未就学児入場不可）

※チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。

十月定例公演

【10月18日（日）14:00開演】

能「井筒」（宝生流）シテ／内藤 飛能

狂言「今参」（和泉流）シテ／野村又三郎

指定席 4,200円、自由席（一般） 3,200円

自由席（学生） 2,000円



主催：公益財団法人名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]